

会 議 録

会 議 名	令和2年度嵐山町男女共同参画審議会					
開 催 日 時	令和3年1月27日（水）				13時30分	
					15時00分	
開 催 場 所	嵐山町役場 204・205会議室					
会 議 次 第	1 開 会 2 任命書の交付 3 あいさつ 4 委員紹介、事務局紹介 5 議 題 (1) 会長及び会長代理の選出について (2) 会議録の署名人の任命について (3) 第3次嵐山町男女共同参画プランの検証について (4) その他 6 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		0人	
委員出欠状況	会 長	寺山サキ子	出席	委 員	中静 晴美	出席
	会長代理	宮本 紀子	出席	委 員	番場 順子	出席
	委 員	藤野 哲男	出席	委 員	須永 圭一	出席
	委 員	松本 洋治	出席	委 員		
	委 員	引間 紀江	出席	委 員		
	委 員	吉野 孝規	出席	委 員		
	委 員	日下部敦子	出席	委 員		
その他出席者	佐久間町長					
事 務 局	山岸課長			青木副課長		
	山口主査					

次 第	顛末（要点筆記）
1 開 会	地域支援課山岸課長
2 任命書の交付	新型コロナウイルス感染防止のため、机上にて交付。
3 あいさつ	佐久間町長よりあいさつ
4 委員紹介、 事務局紹介	各委員及び事務局より自己紹介を行った
5 議 題 (1) 会長及び会長代理の選出について	<ul style="list-style-type: none"> ・会長が決まるまで町長が進行を行う。 ・推薦により、寺山サキ子委員が会長に、会長の指名により宮本紀子委員が会長代理に選出された。
(2) 会議録の署名人の任命について	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、会議録署名委員については、名簿順で藤野哲男委員、松本洋治委員にお願いしたい旨を説明し、了承された。
(3) 第3次嵐山町男女共同参画プランの検証について	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、第3次男女共同参画プランについて基本課題ごとに数値結果及び主な令和元年度の取組み状況について説明した。 ○基本課題No.1～6：雇用環境や就労における男女共同参画（松本委員） <ul style="list-style-type: none"> ・役場職員の男性の育児休業取得率が0%となっているが、主な要因はあるか。（事務局） ・育児休業を取得するまでに至らないが、子を看護するための特別休暇を取得する男性職員は近年増えています。 ・育児休業した場合、現行の給料が補償されないのも要因の一つかと思われ。（引間委員） ・対象者の意識よりも管理職など職場からの働きかけなど取得しやすい環境を整えることが重要かと思われる。（宮本会長代理） ・実際に育児休業を取得することは簡単なことではないかもしれないが、ぜひ取得してほしい。 ○基本課題No.7～12：社会における男女共同参画意識の醸成（寺山委員） <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育において、性同一性障害などの対象者はいるのか。（事務局） ・具体的には把握していないが、以前、男女別の制服を着ることへの抵抗などを感じる相談があったと聞いています。 ○基本課題No.13～16：政策・方針決定過程における男女共同参画（宮本会長代理） <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修の充実の中で、女性のキャリアアップに繋げるための研修に21人が参加したとあるが、全職員の中で女性職員の割合はどれくらいなのか。

(事務局)

- ・令和元年度、全職員138人中、女性職員は49人です。

○基本課題No.17～23：保育や介護の体制整備及び家庭生活における男女共同参画

(日下部委員)

- ・待機児童数が9人ということだが、出生率が低下している状況でも希望者が保育園に入れていないのか。

(事務局)

- ・主に0～2歳児ですが、兄弟で同じ保育園を希望するなどを理由に待機している場合もあります。

(松本委員)

- ・今年度の待機児童数はどのくらいか。

(事務局)

- ・令和2年度については把握していません。

(宮本会長代理)

- ・介護予防教室への参加率が上がっているとのことだが、地域で活動している自主グループの数はどのくらいか。

(事務局)

- ・令和元年度の介護予防自主活動グループの登録数は8団体です。

○基本課題No.24～27：防災・健康等安全・安心な暮らしの実現における男女共同参画

(引間委員)

- ・平成30年度に避難所運営マニュアルが改定されたとあるが、実際に令和元年度に災害等で運用することがあったか。

(事務局)

- ・令和元年の台風15号や19号の際には、役場職員が主体となって避難所を開設しました。平成31年3月に策定した避難所運営マニュアルは主に地域の方々に向けた内容のため、直接的にマニュアルを活用したわけではありませんが、近年にない大規模な災害に直面して多くの課題を残しました。町では現在、地域防災計画の改定を進めています。国や県も近年各地で見舞われている大規模な災害及び新型コロナウイルス感染対策も含め、法整備等の見直しが検討されています。町でもその動向を踏まえ、改めて地域防災計画及びハザードマップの見直しを行ってほしいと思います。その際は男女共同参画の視点など実情にあった計画にしていきたいと考えています。

(寺山会長)

- ・前回の大型台風の際には、避難するために自宅を出るのも大変な状況だったが、避難方法などはどのようにしたら良いのか。

(事務局)

- ・暴風雨など大変な状況になってから避難することは難しいと思います。あらかじめ、安全な場所に住む親族や知人宅に避難したり、今後、新型コロナウイルス感染防止を考慮して安全な場所に車を移動して避難するなど状況に応じて対応する必要もあると思います。

(宮本会長代理)

- ・災害の際には、地域との連携が何より必要になると思う。コロナ禍で会議等が難しい時期ではあるが、地域の防災会等と連携をお願いしたい。

(中静委員)

- ・健康寿命の延伸での取り組みで実施している「らんらん健康教室」は、何歳以上が対象でどのような運動をしているのか。

(事務局)

- ・対象は18歳以上だが、参加者は65歳以上の方が多いです。健康運動指導士などによる健康指導をしていますが、具体的な運動の内容については把握していません。

(日下部委員)

- ・疾病予防の充実の中に人間ドックや各種がん検診が実施されていますが、脳ドックは含まれていないのか。

(事務局)

- ・人間ドックの中に脳との併診ドックがあります。ただし、受診できる方は町の国民健康保険や後期高齢者の被保険者の方です。

○基本課題No.32～36：国際的な協調と市町村連携における男女共同参画

(寺山会長)

- ・町に居住する外国人への支援の中で、町に転入する際の一般的な生活様式（ごみの分別等）伝えるような案内はしているのか。

(事務局)

- ・転入の際、ごみの分別に関しては環境課の職員が説明していますが、アパートなどの入居者は管理会社を通じて案内されていると思います。なお、ごみの分別カレンダーは外国語でも標記されています。
- ・ごみの問題に関しては日本人にも言えますが、本人が知らなくて分別できていない場合と知っていて分別していない場合があると思います。

(宮本会長代理)

- ・国際交流協会との連携したイベントが報告されているが、参加者の男女比はどのくらいか。

(事務局)

- ・具体的な男女比は分かりませんが、このイベントは浴衣や振袖の体験なので女性のほうが多いかと思います。

(番場委員)

- ・このようなイベントに参加されるのは、企業を通じて来日している方なのか、それとも個人で来日した方が多いのか。

(事務局)

- ・国際交流協会の事業の中には企業からお願いされることもあると聞いています。

(宮本会長代理)

- ・国際交流協会がさまざまなイベント等を通じて、外国人への支援をしてくれていますが、外国人の方に地域のイベント等に積極的に参加してもらうことで、さらに支援の輪も広がっていくと思う。受け入れる地域の側でもサポートできるようになれば良いと思う。

(4) その他	(事務局) ・来年度は第4次男女共同参画プランの策定にあたり、審議会を数回開催する予定です。プラン策定には、国立女性教育会館の専門的な知識による助言等をお願いしたいと思います。
6 閉 会	宮本会長代理
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和 3 年 2 月 15 日 署名委員 <u>藤野 哲男</u></p> <p>令和 3 年 2 月 16 日 署名委員 <u>松本 洋治</u></p>	

